

みずほCustomer Desk Report 2024/07/18号(As of 2024/07/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	158.57 AUD/USD
TKY 9:00AM	158.35	1.0903	172.66	1.2978	0.6732
SYD-NY High	158.63	1.0948	172.80	1.3044	0.6755
SYD-NY Low	156.06	1.0896	170.70	1.2967	0.6722
NY 5:00 PM	156.23	1.0940	170.96	1.3008	0.6729
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,198.08	243.60	日本2年債	0.3200%	0.0100%
NASDAQ	17,996.93	▲ 512.42	日本10年債	1.0300%	0.0100%
S&P	5,588.27	▲ 78.93	米国2年債	4.4369%	0.0176%
日経平均	41,097.69	▲ 177.39	米国5年債	4.0790%	0.0042%
TOPIX	2,915.21	10.71	米国10年債	4.1585%	0.0009%
シカゴ日経先物	40,295.00	▲ 1,290.00	独10年債	2.4200%	▲0.0110%
ロンドンFT	8,187.46	22.56	英10年債	4.0740%	0.0260%
DAX	18,437.30	▲ 80.73	豪10年債	4.2350%	▲0.0140%
ハンセン指数	17,739.41	11.43	USDJPY 1M Vol	9.88%	0.88%
上海総合	2,962.85	▲ 13.45	USDJPY 3M Vol	9.30%	0.49%
NY金	2,459.90	▲ 7.90	USDJPY 6M Vol	9.31%	0.21%
WTI	82.85	2.09	USDJPY 1M 25RR	▲1.80%	Yen Call Over
CRB指数	286.06	0.27	EURJPY 3M Vol	8.65%	0.46%
ドルインデックス	103.75	▲ 0.52	EURJPY 6M Vol	8.80%	0.18%

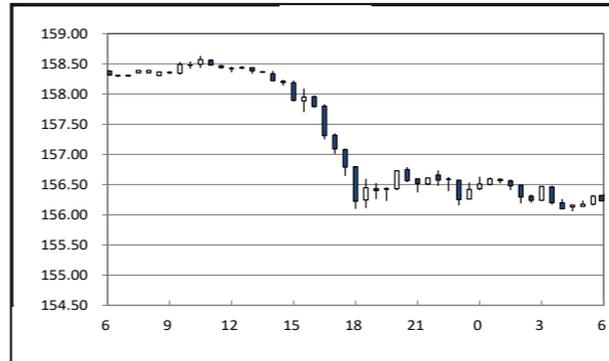
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月17日	15:00	英 CPI(前月比/前年比/コア前年比)	6月 0.1%/2.0%/3.5%	0.1%/1.9%/3.4%
	21:30	米 住宅着工件数	6月 1353k	1300k
	21:30	米 建設許可件数	6月 1446k	1400k
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	6月 0.6%	0.3%
	22:35	米 ウォラーFRB理事講演	利下げ可能な地点に近づきつつある	
7月18日	03:00	米 ペーजूブック	今後6か月成長減速見込まれる	

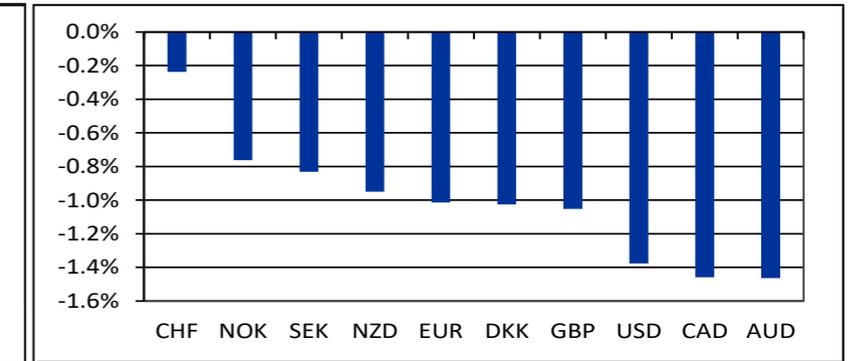
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月18日	21:15	欧 ECB主要政策金利	18-Jul 4.25%	4.25%
	21:15	欧 ECB預金ファシリティレート	18-Jul 3.75%	3.75%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	13-Jul 229k	222k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	7月 2.9	1.3
7月19日	02:45	米 ローガン・ダラス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.00-157.00	1.0900-1.1000	169.50-171.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は2円超の下落となった。河野デジタル相による円安是正のため日銀に利上げを求めたインタビューをきっかけに円ショートポジションの巻き戻しが起こった。また、注目されたウォラーFRB理事含め複数のFED高官から、利下げが近づいていることを示唆する発言もあったことで上値重く推移している。本日は米新規失業保険申請件数、ブラックアウト期間前のFED高官による発言機会が続く。ハト派的な内容を受けて一目均衡表雲の下限(155.49)を下回る場合にはドル円相場下落が勢い付く可能性があるため注意すべきか。

東京	東京時間のドル円は158.35レベルでオープン。昼過ぎまでは158.50を挟み動きなく推移。河野大臣が政策金利の引き上げを日銀に求める報道が出たことから一時急激に円高が進み157.70をつけたものの、すぐに戻され157.95レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.95レベルでオープン。全体的な円買いとなりクロス円の下落を伴って156.10まで売られる。その後若干の反発を経て、結局156.51レベルでNYに渡った。一部報道では、トランプ氏がドル高の米経済に対する悪影響に関して円と人民元を名指してコメントしたことが引き金となったとする見方があった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は158円付近でスタート。トランプ前大統領がドル高への懸念を示した発言や、河野デジタル相の円安牽制発言を受け、ドル円は軟調な値動きとなり、156.10まで下落。その後は下げ渋り、156.51レベルでNYオープン。朝方に発表された米6月住宅着工件数と建設許可件数が共に予想を上回るも、ドル円は反応薄。その後、ウォラーFRB理事が「利下げが可能になる地点に近づきつつある」との認識を示すと、米金利の低下に伴い156.20付近まで売られる。その後は売り一巡となり、徐々に156.60付近まで値を戻す。午後に発表された米地区連銀経済報告書では、「米経済の先行きを巡り、今後6ヶ月において成長減速が見込まれる」との文言が示された事を受け、再び売りが優勢となり、156.06まで反落。その後は小幅戻し、156.23レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。先述のトランプ前大統領のドル高牽制発言を受け、ドル売りの流れから1.0945まで上伸し、その後1.0935レベルでNYオープン。午前中はウォラーFRB理事のハト派発言を受け、ドル売りが強まる中、1.0948まで上値を伸ばす。その後はドル売り一巡となり、1.0930付近まで反落。午後米金利が低水準で推移する展開を受け、高値圏の1.0930付近での推移が続き、1.0940レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。